

○ 質疑応答表 (盛岡市固定資産税家屋評価システム賃貸借)

番号	分類	質問内容	回答
1	【仕様書】 ハードウェア	OSの調達が必要か。また、CALは必要か。	OSの調達は必要です。CALが必要な場合は併せて調達をお願いします。 賃貸借機器のサーバには「Windows Server 2016 (または 2019)」、管理用PCには「Windows10 Pro 64bit」のOSを調達していただきます。
2	【仕様書】 ハードウェア	バックアップについて	現在稼働しているシステムがRAID5 (3台のハードディスク構成+予備のハードディスク1台)であることから、それと同様のものを想定しております。 なお、そのほかバックアップ装置を提案していただくことは可能です。
3	【仕様書】 ハードウェア	クライアントの環境について	VDI方式による仮想環境となります。
4	【仕様書】 ハードウェア	モノクロレーザープリンタはクライアントからの印刷用であるか。	お見込みのとおりです。
5	【仕様書】 ソフトウェア	区画倍率計算オプションとはなにか。	現行システムにおける、家屋の繰り返し部分 (マンションの同じ部屋タイプなど) を入力し、その戸数倍を指定することで1棟の評価計算ができる機能です。 提案システムにおいて標準に搭載されている機能であれば、オプションとする必要はございません。また、このような機能が搭載されていない場合は、その旨を提案書に記載のうえ、ご提案をお願いします。
6	【仕様書】 ソフトウェア	上昇倍率計算オプションとはなにか。	現行システムにおける、登録した標準家屋の評価計算データを基に新基準による評価額を計算・比較し、構造・種類別に評価額の上昇率を計算できる機能です。 提案システムにおいて標準に搭載されている機能であれば、オプションとする必要はございません。また、このような機能が搭載されていない場合は、その旨を提案書に記載のうえ、ご提案をお願いします。
7	【仕様書】 ソフトウェア	Remote Desktop CALの用途はなにか	VDI環境であるクライアント側から、SBC構成の評価システムを利用するため、リモートでサーバに接続するために使用します。